



時事雜感

白洋漁夫

萬國經濟會議の結果 や如何

萬國經濟會議に對しては或は甚大なる期待をもち樂觀する者もあつたが或は何等得る所なきに終るであらうと悲觀する者もあつた、吾人は後説に共鳴した。前にも述べた如くに國際協調主義が世界大戰のもたらした苦痛から免

がれんとして各國の重要人物に依つて唱道せらるゝに至つて夫れが終に國際聯盟や軍縮會議や其他諸種の國際會議となつたのである。世界各國が各々獨自的機能を發揮し、自國の勢力擴張のみに没頭して産業に經濟に軍縮に發明に應用に各方面に於て競争を是れ事としたのは世界大戰前の世界的情勢であつた、即ち獨逸は英吉利を壓せんと計

り、佛蘭西は獨逸を凌駕せんと企て北米合衆國は世界に君臨せんと策しロシヤは東洋に其の爪牙を揮はんとし日本は歐米諸國と其覇を争はん事に熱中した、外交に貿易に經濟に工業に軍備に各秘策を講じて底止する所を知り難くなつた、之が或は歐洲に於て三國協定となり四國同盟となり二國連合となり或は日英同盟等となつた。然るに獨逸カイゼルの「國際條約は一片の反古に過ぎず」との豪語は從來の各國外交政策を根本的に破壊に導いた、獨逸に依つて捲き起された、世界戦争は劃期的に且ハイスピードで人類社會を行詰に陥らしめた、夫れで國際的協調主義へと進展せしめたが矢張如何にして自國に最有利たらしむるか各代表の強

い意識であるから各種の國際會議は好成績を擧ぐることを得ないのは當然の歸結である、其失敗に終るの外なきは正に到達すべき處に到達したのであつて國際會議中の最後の有意義のものと思はるる經濟會議が殆んど無効に終らんとするのは當然である。此現象を見るとときに時代はまた國家主義に逆戻したるものと思はざるを得ない。世界協調主義が解消し武力主義、プロック主義、專制主義、國家主義が擡頭し來つて或國はデフレーション時代を或國はインフレーション時代を現出する。而して國家主義、武力主義、專制主義の國家は國內的關係からインフレーションを必然的に採用する、北米然り日本然りである。各國個別利害の對立が群雄割

據時代を産み出し來る。歴史は繰り返すといふものゝ我々人類は永遠に自己の智識や術策の爲めに惱ませらるるものであらう、各國政治經濟の行詰を解消し人類を生活の不安より救済するの力量を有する偉大な人物を何處にか見出されないものであるか、英國人は英國の眞の姿を知らない、米國人は米國の眞相を見るを得ない他の各國人亦然りである、ヒットラーの專制政治もムツソリーノの獨裁政治も遂に世界人類の救世主であり得ないのである、次いで來るべき世界的現象や如何。

何が既成政黨の更生か

政友會が三百の代議士を有しながら何時までも無能な内閣の援助はまかり

ならぬと斷然絶縁的行爲に移らんとした事は政友會として而かも鈴木總裁が君臨する政黨として無理ならぬ行途と思はるるが此方途に躰進して下院の解散に達着しての結果に想到した時に熟考を餘儀せらるるものがある、そこで政黨其れ自體が自然に解消せらるる運命を待つよりは政權獨占をすて、も既成政黨の存在を要望する念慮が發生した。無任所大臣即ち各省行政長官たる地位、單に閣議に於て意見を開陳し贊否の意を表するかに止まる大臣に政黨の總裁を以てし之れに依つて現内閣を維持し、より悪い内閣の出現を阻止せんと企つる連中を生じた。此が眞に既成政黨の更生策であらうか。現内閣の最も難事と思はるる第二次海軍補

充計劃、陸軍兵備改善計劃即ち國防事業費と滿洲事變費、時局匡救費を如何に解決せんとするか將又財政問題としての増稅策を如何に處理せんとするか。此二大案件に對しては現内閣との絶縁を聲明した政友會と准與黨を以て自任する民政黨との間に於て其意見を異にすと傳へられて居る。最近兩黨の首領達の意見に徴しては事實相違ないものと思はる、果して然らば意見相反する兩既成政黨が其首領を無任所大臣として現内閣員に班せしめ又現内閣を支持し、容易に到來せざるも何時かは歸復するであらうとの所謂憲政常道的内閣の成立を待望することは不可能事であると視る向もあるが、一般國民が既成政黨に對する信頼心は中々回復し

ない、否審ろ國家主義が擡頭し專制獨裁政治が奏功しつゝあるを見て其處に憧憬心をもつものが少くないこととなつたので憲政常道とは政黨内閣でなく超然内閣が執政するを正解と爲す政論さへ唱へらるゝに至つた。新政黨の成立は事實容易ならず依然二大既成政黨が存在する觀がある、だが其政黨力は日に日に改造の運命に迫られつゝあるではなからうか、既成政黨の懊惱は其處に存するのであると思はるるが非か道途傳ふる所に依れば鈴木政友會總裁は幾日高橋藏相から非公式交渉を受け

あるが政黨が國家的に更生するを欲するならば、政黨を社會化して黨勢の回復を思惟するならば心機一轉するのは敢て難事ではなからう、況んや兩政黨とも相反せる政策主張を非常時局の命題下に拋棄するが如き事は朝飯前の一茶事に過ぎないであらう、政界の雲行や果して如何、今日の無風状態は何時までも繼續さるべきか。

我國の財政は赤字状態であつて夫れが十億圓を突破するや否か重要視せられて居る増稅問題も此處に出發する。されど現下の世態は一面に於て積極的である、見よ農村匡救事業、森林治水事業、河川港灣整備事業、國防事業、

交通網と地下鐵

滿洲事變等々を、多々益々處辨しなればならぬ事業がある。夫れで道路河川港灣に關し革新的根本計畫を立てねばならぬので土木會議が設置せられんとすると内閣では其上に交通會議をも設置せんとする趣である。交通網確立の必要を告ぐるは確かに我國の現状である。故に過般帝國鐵道協會、港灣協會、日本交通協會及道路改良會は聯合して全國交通網調査委員會を設立したと聞く、果して如何なる程度の調査を遂げ、内務、遞信、鐵道の三省に向つて如何に有力な具體的意見を提出するであらうか。道路の改良や船舶鐵道の整理や自動車利用の如きは著々發展し來つたが港灣の完備は前途尙遼遠と云はなければならぬ觀がある。更らに眼

を轉じて航空輸送の如き地下交通の如きに至つては擧げて論ずるに足らざる程度である。實に航空路に於て航空機に於て將又夜間航空の未開始の點に於て吾人をして轉た焦慮に堪へざらしむるものがある。更らに地下交通に至つても僅かに大阪東京の兩都市に於てのみ其設備あるを見るのである、最近開通した大阪の地下鐵道は心齋橋通の近距離に止まるが故に之を措き東京地下鐵道の現状を見るに同會社の設立は既に十有餘年を経たるが運轉開始は昭和二年十二月であつて僅かに五年有半歳に過ぎない。而して其既設軌道は淺草雷門より京橋に至る間の五、一杆に達し、沿線に在る淺草松屋、下谷松坂屋、日本橋三越、白木屋、高島屋の大百貨店とは停留場に於て連絡設備を施して市民の利便を圖り且會社直營の三スト

アと食堂が設けられて居る、又日本橋の停留場の通路を利用することに依つて路面交通の混雜と危険とを避け得らるる、實に地下交通の便利と安全とを證して餘りある觀がある、故に其利用者は益々増加し昭和七年の上半期に於ては一日の乗客平均數は四萬七千八百人内外であつものが翌八年上半期に於ては其二割五分を増加して五萬六百人を算するに至つた、従つて更らに其工事が進捗して帝都の中心を貫通するの曉に至らば都會交通上偉大なる功績を擧ぐるに至るべきは多言を要せずして明かである、吾人は東京地下鐵道株式會社の一部營業に徴して水陸交通の整理を圖ると共に航空地下交通に急速力を以て其設備の開發を促がすことを切望するものである、之れが我國國民更生の一路であると信ずる。